



「ふるさと子ども夢学校」説明会に佐渡市参加

関東地域での梅雨入りが発表された、去る6月11日(木)、新潟県グリーンツーリズム推進協議会主催の「ふるさと子ども夢学校」の説明会が開催された。



新潟県は、子どもたちの長期宿泊体験教育旅行を応援しており、「子ども農山漁村交流プロジェクト」を推進するにあたって、より多くの都会の子どもたちに、新潟の農山漁村で豊かな体験をしてもらうため、各地域の魅力を首都圏の小学校等に対しアピールしている。会場となった表参道・新潟館ネスパス3階会議室には、胎内市・阿賀町・小千谷市・長岡市・魚沼市・南魚沼市・津南町・十日町市・上越市・妙高市・糸魚川市・佐渡市の各ブースが設けられた。午前には、地域の紹介、受入農家とのフリートーク、午後は、首都圏の小学校、中学校で長期宿泊体験教育旅行を検討されている先生方の各種相談に対応した。佐渡市コーナーには、佐渡市役所



観光課 金子係長が出向き、「環境学習の島 佐渡」の紹介を行い、先生方のあつまい期待に積極的にお応えした。多くの子どもたちの参加が望まれる。

(文責:佐渡市東京事務所 榎谷端夫)

アミューズメント佐渡 イベント情報

お問い合わせ ☎52-2001

太田市・佐渡市 親善交流演奏会

日時：8月22日(土) 14:00開演(13:30開場)

会場：アミューズメント佐渡大ホール

入場無料(入場整理券をアミューズメント佐渡、各地区公民館にて配布中!)

太田市近郊に住む小学5年生から高校3年生までの各楽器のオーディションに合格した青少年で構成されているおおた芸術学校付属オーケストラ「ジュネス」。



佐渡の吹奏楽の団体と親善交流演奏会を行います。

出演:おおた芸術学校付属オーケストラ「ジュネス」(群馬県太田市)、佐渡市立金井中学校吹奏楽部、佐渡市立佐和田中学校プラスバンド部、ウインドアンサンブル佐渡

予定曲目:交響曲第2番(シベリウス)、天地人ほか

アミューズメント佐渡開館15周年・佐渡市合併5周年記念

オペラ「夕鶴」

日時：9月21日(月・祝) 13:30開演(13:00開場)

会場：アミューズメント佐渡大ホール

入場料：S席(指定)3,000円(学生1,500円)、A席(自由)2,000円(学生1,000円)

劇作家の木下順二さんが佐渡の民話「鶴女房」を題材に書き下ろし団伊玖磨さんが作曲したオペラの名作を上演します。2007年のハイライト公演から2年。今回は全幕を上演します。ぜひお楽しみください。



出演:つう:家田紀子(藤原歌劇団)、与ひょう:角田和弘(藤原歌劇団)、運ず:牧野正人(藤原歌劇団) 惣ど:池田直樹(二期会)

指揮:河地良智 演奏:新潟大学管弦楽団、子供たち:佐渡夕鶴合唱団(佐渡市)

随想

ゆや夢飛行

No.35

佐渡市長 高野宏一郎

白山丸まつり、野浦芸能フェスティバル、鉾山祭

7月26日、今にも降りそうな梅雨空の中で、小木の北前船「白山丸まつり」が開催され、小木地区の「白山丸友の会」が中心で、10回目の開催となりました。宿根木の船大工の屋根裏で発見された図面により忠実に再現されたこの船の価値はもとより、地域を永遠に元氣付ける象徴としての価値は大きいものがあります。

正午から野浦の芸能フェスティバルが開催されました。環境のこの集落は伝統文化でも優れた歴史があります。国の事業「子ども農山漁村交流プロジェクトモデル事業」で阿賀町の小学生や大学の研究者などもこの集落に入ってきて研究を続けていて、この催しを楽しんでいました。雨を心配しましたが、始まるとほぼ同時に雨が上がったことで地域の熱気が実感されました。

恒例の本間家定例能が本間家能舞台で開催されました。佐渡能楽倶楽部の主催ですが、能楽人口の多い佐渡ならではの各地の選りすぐりの人材を集め、重要無形文化財保持者の本間英孝先生のご指導は冴え渡っていました。いつもながら佐渡の文化の奥深さを感じます。

イベントの多い一日でしたが、締めくくりは相川の鉾山祭でした。幕府の直轄地であった佐渡で奉行所の前で相川音頭を踊ったいわれの地域最大の祭りでしたが、最近では競合するイベントも数多く、少々影が薄くなったくらいがあります。しかしなんとといっても鉾山祭です。夜には民謡流しで盛り上がり、鼓童は屋内で残念でしたが集まった観光客や島民の夏の血を沸き立たせるに充分でした。

(題字 高野宏一郎)

